



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2013-2014

Rotary

International

District

No.10



ガバナー 山崎 堅輔

事務局：〒959-2627

新潟県胎内市野中 490-3 新和ヒルズ 2F

TEL0254-28-8822 FAX0254-28-8826

E-mail:k.yamazaki@rid2560niigata.jp



CONTENTS

表紙ページ.....	1
ガバナーメッセージ.....	2
クラブ会長エレクト研修セミナー報告.....	3
第2回米山委員長セミナー報告.....	4
第2回ロータリー財団セミナー報告.....	5
米山奨学生終了式・歓送会報告.....	6
スキーの集い in 糸魚川.....	7
ロータリー山の会 ウィンタースポーツの集い	9
グローバル補助金 タイ水浄化プロジェクト視察 報告.....	10
ハイライトよねやま 168号	12
ロータリー文庫	14
第2560地区 2013-2014年度2月末 会員数および出席報告.....	15
裏ページ.....	16

ロータリー雑誌月間によせて

国際ロータリー第 2560 地区
ガバナー 山崎 堅輔 (中条 RC)



厳しい寒さから漸く解放され、季節の変わり目、そして行政としての新年度が始まります。

そして、2月22日に小千谷で PETS が開催され、地区方針も固まり、佐々木年度の準備が着々と整いつつあります。

R I 方針の基本的な事項は、ロータリー章典、手続要覧に記載されている通りです。これについて異議が有れば、3年毎に開催される規定審議会に立法案を提出して、各地区からの代表議員によって審議され、山崎年度で次期代表議員を指名することになっております。

地区ロータリー財団のプロジェクトとして、第2500地区(北海道東部)と共同で実施しておりました R I 第3330地区(タイ国)での浄水装置設置完了に伴い、3月7日にその引渡し式が挙行され立ち会って参りました。

真冬の新潟からいきなり30℃を超える真夏の国へ行くことで、身体が持つかどうか気掛りでしたが、問題なく滞在日数をこなすことが出来ました。

折から、3月8～9日に第3330地区の地区大会が開催され、初めて海外の地区大会に参画することが出来ました。地区大会の運営は全てタイ語で、通訳が居らず、出席した日本人一行は識字率ゼロの全くの文盲状態でしたが、プログラムそのものは、日本国内のそれとほぼ同様であり、何をやっているかは概ね理解することが出来ました。その内容、手法に付いては我々が通常行っているものとは異なる部分がありましたが、紙面の都合で次の機会と致します。

4月は雑誌月間に指定されております。

当地区のロータリーの友代表委員の村上 RC 川村会員からの情報では、毎年3月に村上市の観光事業として開催されている「人形様巡り」をメインとして、ロータリーはそれにどの様に拘わっているのか等についての取材があったそうです。

そして、それはロータリーの友5月号に掲載されるとのことで、乞うご期待です。

ご承知の通り、ロータリーの友は「読まれざるベストセラー」と言われていますが、ロータリアンの三大義務の一つとして、ロータリーの友の購読義務が有ります。

川村 友代表委員からは、読めばロータリーの情報が結構詰まっています。是非読んで欲しいと言われております。改めましてどうぞ宜しくお願い致します。

「ロータリーは、あなた自身から」

—You are the key—

国際ロータリー第 2560 地区
ガバナーエレクト
佐々木 昌敏 (小千谷 RC)

こんにちは！ガバナーエレクトの佐々木でございます。みなさん、楽しいロータリーライフやっていますか。平素は 2560 地区のため、ロータリーの諸活動にご尽力くださりまして、ほんとうにありがとうございます。感謝いたしております。

さて、2 月 22 日(土)には、錦鯉と闘牛そして豪雪のまち小千谷市において、「クラブ会長エレクト研修セミナー」を開催いたしました。この PETS (President-Elect Training Seminar) と呼ばれる研修は、世界 537 地区のガバナーエレクトが、国際ロータリー会長エレクトの年度方針をクラブの会長エレクトにお伝えして、ご理解を得るためのものであります。

ゲイリー C.K. ホアン会長エレクトは、年度のテーマを「ロータリーに輝きを」とされ、奉仕を実践して奉仕の喜びを分かち合って、ロータリーの存在感を高めてもらいたい。そして喜びの輪が地域から世界へとひろがっていくよう説かれました。わたくしは、ホアン会長エレクトの方針をうけて、年度のスローガンを「ロータリーはあなた自身から」といたしました。

国際協議会の会場サンディエゴから成田に向かう飛行機のなかで、わたくしの年度をどうしようか思い悩んでおりました。できることなら高度の地区方針にしたいとも思っていました。そうだ今ここは高度 8,000 米の飛行機のなかだ、きつといい考えが浮かぶに違いない、高度の考えが・・・と。

恕の精神で、職業奉仕に洗練された会員同志が、自分が他者に何をできるかを考え、活動し、生きていくなら、ロータリーは必ず楽しくなる。さらに楽しくなる！ロータリーの輝きは、クラブから地域へ世界へと。その鍵を握るのはあなた自身です。You are the key

そのためには、好んで議論するよりも、すすんで行動しよう。勇気をもって、第一歩を踏み出しましょう！Take Action！と申し上げました。

実行計画については、4 月 12 日(土)の地区研修・協議会で議論しましょう。お待ちしております。



第2回米山奨学委員長セミナー報告

国際ロータリー第2560地区
米山記念奨学委員会
寄付増進委員長 宇尾野 隆 (新潟 RC)

2月8日(土)にANAクラウンプラザホテル新潟の於いて本年度第2回米山奨学委員長セミナーが開催されました。

当日は、山崎ガバナーはじめ佐々木ガバナーエレクト、植木(財)ロータリー米山記念奨学会理事の出席をいただき、2560地区の49クラブの今年度、次年度の米山奨学委員長74名の皆様にご参加をいただきました。

山崎ガバナー、佐々木ガバナーエレクト、大橋地区米山奨学委員長のご挨拶に続き、米山奨学生の許慧玫さん(キョ・ケイブン 台湾 新潟北RC)とチャン・ゴック・アン・ティさん(ベトナム 新潟西RC)のお二人から現在奨学生として生活を送っている経験談をお話いただきました。参加された各クラブの皆様は、奨学生の学問への取り組み、世話クラブとの交流、ロータリーを理解して母国と日本の懸け橋としての役目をこれからの人生で担おうとする姿勢に感銘を受けていました。例会で会員に伝えたいということで2560地区の米山奨学生のスピーチDVDを作成してほしいという要望がありました。

その後、グループディスカッションの趣旨説明がおこなわれ、「米山奨学事業へのさらなる取組—これまでの取り組みを踏まえて今後どのような活動をするべきか」というテーマで9つのグループに分かれて討論を行っていただきました。

各クラブからは、より多くの寄付金を徴収するための方法などの事例が発表され、また奨学生を各クラブで紹介する方法や卓話で奨学生のお話を聞きたいなどの要望が寄せられ、寄付金と米山奨学制度の意義について意見交換がなされました。

討議終了後、各グループの代表者より各グループの意見が発表され、今後の事業遂行に参考になるディスカッションになったと思います。

最後に、植木理事より講評をいただき参加者の皆様は、再度米山奨学事業に対する認識を深め各クラブでの事業を充実させる決意を新たにしていました。



第2回ロータリー財団セミナー実施報告

国際ロータリー第2560地区

ロータリー財団委員会

次年度 副委員長 篠田 昇 (新発田 RC)

日時: 2014年2月15日(土曜日) 午後1時00分～午後4時00分

会場: 新潟万代シルバーホテル 5F 万代の間

出席者: 地区内ロータリークラブ/次年度会長、次年度財団委員長(又は代理者)

2012-13年度国際親善奨学生/上原薫さん、丸山直哉さん

山崎ガバナー、佐々木ガバナーエレクト、山本ガバナーノミニー、関係地区役員

地区ロータリー財団委員会委員

次第:【セッション第1部】

- ① 地区補助金と奉仕プロジェクト反省点と今後の課題
- ② グローバル補助金経過報告
- ③ 地区奨学金プログラムの流れ及び2012-13年度国際親善奨学生の体験談発表

【セッション第2部】

- ④ 寄付・資金の現状と今後の取り組み及び寄付増進事例発表
- ⑤ 未来の夢計画2年目に向けての準備と補助金管理
- ⑥ 2012～13年度 ロータリー財団バナー表彰
- ⑦ ポリオ寄付の現状と今後

セッション第1部では、夢計画の初年度に当たる今年度の補助金を活用した各事業の進行状況と、次年度の積極的な補助金活用に向けた申請の手順、注意事項をお伝えした。その中で、2名の2012-13年度国際親善奨学生から帰国報告がなされ、ロータリー財団資金を活用した奨学金制度の素晴らしさを一同再確認した。

セッション第2部では、各補助金事業を積極的に推進するための財団寄付増進の願いと、補助金の利用に当たって「クラブの参加資格認定:覚書(MOU)」の提出と資金管理の留意点をお伝えした。また2012～13年度の財団寄付において優秀な成績をあげたクラブがバナー表彰された。



2013-2014 年度地区 米山奨学生終了式・歓送会 報告

国際ロータリー第 2560 地区

米山記念奨学委員会

奨学生・学友委員 丸山 常彦（新潟中央 RC）

去る2014年3月1日（土）新潟市の万代シルバーホテルに於いて奨学生終了式・歓送会を開催いたしました。奨学生20名、学友2名、カウンセラー17名、委員長7名、担当教員6名、地区役員・事務局16名の計68名の参加をいただきました。

寄付増進委員長 宇尾野さんの司会のもと、山崎ガバナーからの挨拶に続き、佐々木ガバナー エレクト、大橋 米山奨学委員長、詹秀娟 学友会会長の挨拶をいただきました。

次に、終了されます奨学生の皆様お一人お一人に山崎ガバナーより終了証書が授与されました。終了される奨学生を代表してムハマド・アリフ・ビン・ハルンさんより挨拶をいただきました。

カウンセラーの皆様には感謝状の授与を山崎ガバナーよりカウンセラーを代表しまして山本和則さんに送られました。その後、カウンセラーを代表しまして挨拶を山本様よりいただきました。

のちに、指導教員を代表されまして、朱 継征 様より挨拶をいただき、終了式が終わり休憩・記念写真をみんなで撮りました。

歓送懇親会では、ガバナーノミニー山本和則様の発声により盃が開けられました。

終了される奨学生の皆様よりお一人ずつ、想いや、思い出などを話していただき、わきあいあいとした雰囲気の中、会が進行しました。また、指導教員の皆様よりも一人ずつ挨拶をいただきました。

中閉めの挨拶を安藤 米山奨学副委員長より三本で絞めていただき最後に手に手つないでを合唱して終わりました。

カウンセラー、指導教員、学友、奨学生、委員長、役員の皆様大変ありがとうございました。



糸魚川 RC、我がクラブの目指すもの、その活動

糸魚川ロータリークラブ
会長 藤森 仁行

昨年春から、転勤者の後任を含め、5名の新会員を迎えたが、今冬の寒さから70歳代後半の死亡退会が2名、転勤が1名を数え、純増0の状態である。増やしても 増やしても追いつかない。

糸魚川市は平成の大合併で糸魚川市、青海町、能生町の1市2町が合併し人口5万人の新糸魚川市が出来上がったが、高齢化率33%の地域なので、今や人口は4万6千人を割り合併10年で、人口は10%減少してしまった。この様な地域にロータリークラブが2つ、ライオンズクラブが2つあり、お互いに新たな会員を求め、しのぎをけずっている。



妙高高原クラブの姿が私達のクラブでの明日の姿にならないように努めている。そういう中で、来年春、北陸新幹線が開業し、現 JR 駅舎が改築されて新しい駅舎がほぼ完成して、新しい姿をみせて来ている。交流人口が増え、人口減に歯止めがかかるのか、これからが正念場である。

当クラブでは、「人との出会いを大切に」「ロータリーを楽しく」をスローガンに掲げ、何とか会員増につなげて行きたいと考えている。

奉仕の理想を説いても会員は増えない。皆が例会を楽しみと思わなければ新会員も増えない。移動例会、夜間例会を増やし、定型的は例会よりも、もっと自由に話し合え、楽しみ合える例会を増やしてきた。

昨年から、知る人ぞ知る、糸魚川 天津神社「けんか祭り」の棧敷に例会場を移したり、今年からは「スキーの集い」を始めた。フォッサマグナ(糸魚川ー静岡構造線)の露頭が見られる、根知のシーサイドバレースキー場にて移動例会を開催した。その案内状をガバナー事務所に送った所、山崎ガバナーが来訪され、その見事な足さばきを披露され、一同感心させられました。卓話もお引き受け頂き、ハンググライダーの経験やマスターズのスキーの入賞など貴重なお話を楽しく聞かせて頂いた。



話は変わりますが、去年は伊勢神宮や出雲大社の遷宮がありました。大国主命が天津神社の祭神の奴奈川姫を訪れた古事記の記述があります。



フォッサマグナは糸魚川から大町、穂高、松本、諏訪を通り、静岡へ至る本州を二つに分ける大断層ですが、その断層上にある。穂高神社(奥社は上高地、明神池にあります)や諏訪大社の祭神は、奴奈川姫の子供達です。大町から松本までの地域は安曇野(あづみ野)と呼ばれますが、この「あづみ」は海の古語(わたつみ)から来ている言葉です。出雲族は大糸線を遡って松本諏訪地方へ進出して行ったと思われます。

糸魚川市は縄文時代より開けた地方で、青森の三内丸山遺跡には糸魚川産のヒスイの勾玉が陳列してあります。縄文の時代を代表する火焰土器は長岡まで行かなくとも、糸魚川市フォッサマグナミュージアムに飾ってあります。私達のクラブは、その火焰土器が出土した長者ヶ原遺跡周辺に縄文の森を復元しようと、クリやナラの木を植え、春秋に草刈りを継続事業としてやっています。

糸魚川中央クラブや糸魚川青年会議所と共催で、新日本フィルのメンバーによる室内楽団の定期演奏会(これも移動例会にしています)、この機会に子供達に本物の音楽を聞いてもらおうと、小学校や幼稚園での演奏会や、地域唯一の総合病院の糸魚川病院でのコンサートを毎年続けています。

詳細は略させていただきますが、他にも少年野球、ゲートボール大会、独居老人昼食お楽しみ会など地域に根づいた活動で、地味ですが、確実に、ロータリーの輪を拡げていこうとしています。



国際ロータリー2560 地区「山の会」第1回ウインタースポーツの集い

国際ロータリー第2560 地区
「山の会」幹事 鹿嶋 和子(中条胎内 RC)

2014年3月1日～2日 午後5時から、ロイヤル胎内パークホテルにて、「ウインタースポーツの集い」懇親会が開催されました。

当日は、胎内スキー場の創設50周年を記念してプロスキーヤー 三浦 雄一郎氏の記念講演会に合わせて来館されたロータリアンを含め11名での集いとなりました。



第1回ウインタースポーツの集いを記念して、山崎ガバナーからご挨拶を頂き、その後は各自のロータリークラブの活動や職業、趣味の話など、時間を忘れて語り合い十分に親睦を深める事が出来ました。



2日(日)胎内スキー場にて9時30分集合。胎内スキー場は、下越地区最大のスキー場であり、ゲレンデも豊富で変化に富んでいます。山崎ガバナーにスキー場の案内をして頂きながら、2時間30分のスキーの集いを終了しました。今回の参加者の中には10数年ぶりにスキー板をはいた方、シーズン中1～2回の方、毎日の様にスキーをされている方まで、バラエティーに富んでいましたが、山崎ガバナーの

指導のもと、緊張しながらも早春の息吹を感じながら、久方ぶりのスキーを楽しみ、雄大な自然の景観も楽しむ事が出来ました。

今回の雪と親しむ機会をご理解頂き、ご参加頂きましたロータリアンの皆様に感謝申し上げます、ご報告と致します。ありがとうございました。



グローバル補助金報告

タイ スラッタニー第3330地区における6小学校への水浄化プロジェクト

国際ロータリー第2560地区

ロータリー財団委員会

副委員長 野沢 正信 (新潟北 RC)

未来の夢計画実施初年度、新補助金システムが3年間の試験期間を経て全世界で実施されることになりました。当地区では海外での共同事業の実績に乏しく、新補助金システムのグローバル事業は今迄の補助金と違い6つの重点分野をクリアしていること、持続可能、成果検証、等が求められるハードルの高い事業です。

当第2560地区は山崎ガバナー提案による北海道 第2500地区(北海道東部)と共同事業としてグローバル補助金活用事業を進めることになりました。

因みに、このプロジェクト資金は第3330地区 5,000ドル 第2500地区 10,000ドル 第2560地区 10,000ドル WF25,000ドルで事業合計 50,000ドルの規模の大きな事業です。

タイ 第3330地区スラッタニー地域の6小学校への水浄化プロジェクトに参加することを決めましたが当地区は経験不足もあって、事業化に向けての取組は第2500地区 担当者の笹谷さんに大変お世話になりました。北海道 第2500地区は7～8年前からタイ 第3330地区(バンコクからプーケット、マレーシア国境迄)と友好地区であり、数多くの支援事業を経験している地区でもあり、当地区としては共同事業者としては最適であると判断しました。また第3330地区はパイロット地区でもあり、世界で一番初めに地区補助金を受領した地域でもあり未来の夢計画を理解している地区と云われています。

昨年3月から動き出した計画は、第2500地区の担当者の笹谷さんを通して情報を頂き、協議を重ねての連続で当地区ガバナー事務所のスタッフや、関わった委員の皆さんに大変ご苦労頂きました。お陰様で年末までには水浄化設備も完成し、第3330地区から地区大会参加と共同事業としての水浄化設備の見学も兼ねての招請要請があり、山崎ガバナーと共に3月6日～9日迄タイへ訪問して参りました。



第2500地区から葎本ガバナー、東堂ノミニ、小船井PGの3名、当地区から山崎ガバナーと私の2名で、日本からは合計5人のメンバーが参加しました。



スラッタニー地区から60kmほど車で移動し小学校に到着すると、校門から校舎まで日の丸の小旗を振って迎えてくれました。講堂に入ると地元ロータリアン、小学校の生徒、父兄、学校関係者、地域の人達が集まり、この水浄化施設がいかに地域の人々に期待されているかが判ります。

式典が始まると私どもロータリアンに浄水器によって作られたペットボトル入りの水が提供され、地区ロータリアンや学校関係者が次々にロータリーのおかげで生徒たちがきれいな飲料水を飲むことへの感謝を述べ、ロータリーのおかげで地域住民も恩恵を得ていることをアピールしていました。

その後、テープカットのセレモニーや浄水設備機器の見学、父兄が手作りの昼食を用意して地域、学校、ロータリアンが一体となって我々を歓迎してくれました。

この事業で感心したことは、地元のロータリアンが地域の水浄化のニーズを取り上げ、地域住民や学校関係者を巻き込んで小学校の生徒が安全な水を飲むのは日本のロータリーと地元ロータリーの支援のお蔭だとロータリーの公共イメージ向上に広く貢献していることです。ロータリーの活動があればこそこの施設があるという事をしっかり子供から大人までロータリーの活動を理解していることです、日頃から地元クラブのこうした草の根が、小さなクラブでも認められることで励みにもなり、ひいてはロータリー活動の原動力になっているように思われます。このようにグローバルで地域貢献が実感でき、喜びを感じられる活動をもっと多くのロータリアンに知ってもらうことが今後の我々に課された広報活動かなと思います。

世界に目を向け一歩を踏み出すと、わくわくドキドキの知らない世界での交流が広がります。どうかグローバル補助金活用で知らない世界を感じて下さい。





2014年3月17日発行【月刊】
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま 168

1 寄付金速報 — 下半期の寄付状況 —

2月までの寄付金は前年同期と比べ1.2%増、約1,200万円の増加です。普通寄付金が0.6%減、特別寄付金が2.2%増となりました。2月単月の特別寄付金が、直近5年間で2番目に低い金額となったものの、先月に引き続き、累計額ではこの5年間で最高額を維持しています。今後とも当会事業へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

さまざまな寄付のカタチ

— 退会後から毎年10万円のご寄付 —

長崎南RCの元会員、小川春彌氏は5年前に退会后、クラブ事務局を通じて毎年10万円を寄付され、このたび50万円を達成されました。小川氏は、「ロータリーのプログラムで特に素晴らしいと感じたのは青少年の育成。もう二度と戦争に向かうようなことがあってはならない。平和を守るために大切なのは軍備ではなく、人を育てること。受けた恩を忘れぬ気持ちは世界共通であり、これらを具現化しているのが米山奨学事業だと思ふ。支援した学生が国を動かすようになるには時間がかかるが、継続が重要。命のある限り支援を続けていきたいと、語ってくださいました。」



ご家族に囲まれる小川氏(前列中央)

2 モンゴルに海外6番目の米山学友会が誕生！

海外6番目となる米山学友会がモンゴルで設立されました。3月1日にウランバートル市内で開催された創立記念祝賀会には、学友24人、日本からロータリアン9人のほか、元駐日モンゴル大使や在モンゴル日本国大使館一等書記官、フレールRC会長など来賓を含む40人以上が参加。創立会員34人の中から、初代会長にジャンチブ・ガルバドラッハさん(1998-99/山形北RC/現在フレールRC会員)、副会長にバルジンニヤム・バトソリグさん(2007-08/津久井中央RC)、ほか5人の役員が選任されました。ジャンチブ会長は「長年の夢をようやく実現することができた。日本のロータリアンが育ててくれた学友たちの力を結集し、皆で頑張って活動していきたい」と、抱負を語りました。また同日、

モンゴル国各省庁から表彰状および感謝状が当会理事長をはじめ、関係ロータリアンに贈られました。当日は地元メディアの取材もあり、ニュースなどで報道されました。



理事長に代わって表彰を受ける
岩瀬事務局長(女)

総会を歌で盛り上げたボロルマーさん
(女)と受付・撮影・メディア対応の学友



締めくくりに全員で「手に手つないで」

3 新地区補助金によるベトナム奉仕活動に米山学友が協力

第2770地区の越谷RCでは、新地区補助金による国際奉仕活動として、ベトナム出身のグエン・デュエン・ティハイさん(2011-13/越谷RC)の協力のもと、ベトナムの幼稚園に木のろ過装置を設置しました。今年1月17日、ダナン国際空港に降り立った一行をグエンさんの家族が出迎え、バスで2時間をかけてビンフー幼稚園に到着、贈呈式ではグエンさんが通訳をつとめました。グエンさんのカウンセラーで、現在、クラブ国際奉仕委員長をつとめる須賀定吉会員は、「バスに乗った我々に幼稚園の先生や園児、近所の人まで懸命に手を振り、見送ってくれた姿が今も目に焼き付いている。慣れない土地で任務を果たすことができたのは、グエンさんやご家族のおかげ。彼女のご両親からは日本のロータリーへの感謝の言葉もいただいた」と、喜びを語りました。



越谷RCの皆さんが夕食を済ませホテルへ帰る際、一人の青年が突然、「私は日本に留学し、ロータリー米山記念奨学生



レ・グエン・フォンさん

いつも日本人を見かけたら、声をかけることにしています。今回はレストランで日本語の会話が聞こえたので、「お味はいかがですか?」と話しかけました。そうしたらロータリアンだということになり、驚きました。元奨学生として、ベトナムで日本のロータリアンにお会いでき大変嬉しいです。もっとお話して地元を案内したかったですね。

となって大変助かりました」と、話しかけてきたそうです。その青年はレ・グエン・フォンさん(2007-09/西郡須野RC)。2011年に帰国後、国立ダナン工科大学建築学科で教鞭をとるかたわら、日本人を主な顧客とする個人設計事務所も開き、仕事に励んでいます。

4 17年ぶりの再会に感激 一スレス・ダス・シュレスタさん

昨年10月に創立されたネパール米山学友会の会長、スレス・ダス・シュレスタさん(1994-96/大阪天王寺RC/現在カトマンズRC会員)が島根大学からの招いで来日する機会を利用し、第2660地区の地区大会(2/21-22)に参加。その折、高齢のため退会したカウンセラーと、17年ぶりの再会を果たしました。



スレスさん(右)とカウンセラーの和泉氏

「知らせを受けた日から心は高揚し、待ち焦がれていた」と語る、カウンセラーの和泉俊治氏。スレスさんと共に学友会の設立に尽力した大阪在住の学友、ディネス・ブラサド・シュレスタさん(1991-92/宝塚武庫川RC)も交えた3人での会食は、ネパールの水資源研究や教育の問題、ロータリーや家族のことなど、尽きることのない話題に盛り上がり、時間を忘れるほどだったと言います。

「和泉先生はとても88歳とは思えない若々しさで、会ってすぐに“シュレスタ!”と昔と変わらない声で呼ばれ、20年近い時を超えて学生の時に戻ったようでした」と、スレスさんは再会を振り返り、和泉氏も「彼の成長した姿、国の発展と専門分野の教育指導にあたる様子を知り、カウンセラー冥利に尽きる、楽しくうれしい、充実した一日でした」と、感激の言葉を寄せてくださいました。

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
皇龍芝公園ビル3F

Tel : 03-3434-8581 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

編集担当：野津・峯

文庫通信

Vol. 319

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー最近の文献より

- ◎「戦国を生き抜いた知恵」細川護熙 2013 7p (D.2650地区大会記念誌)
- ◎「はやぶさプロジェクトの成果・教訓」川口淳一郎 2013 4p (D.2820地区大会記録)
- ◎「日本人の持つべき国家観について」渡部昇一 2013 11p (D.2520地区大会記録誌)
- ◎「世界の人々のために」緒方貞子 2013 5p (第11回日韓親善会議報告書)
- ◎「これからの両国のきずな」山東昭子 2013 5p (第11回日韓親善会議報告書)
- ◎「軍艦『筑波』一偉大なる航海(上)(下)」岡村健 2013 23p (福岡南RC月報)
- ◎「『がんばらない』けど『あきらめない』」鎌田實 [2013] 1p
(D.2840地区大会報告書)
- ◎「これからの生き方」山田法胤 2013 2p (D.2700地区大会の記録)
- ◎「人が動き街が動く～私のリーダーシップ論」セーラ・マリ・カミングス [2013] 21p
(D.2800地区大会記念誌)
- ◎「平和と命」深川純一 2013 20p (第35回青少年指導者育成セミナー報告書)
- ◎「掃除実践60年の『人生と経営の哲学』」鍵山秀三郎 2014 10p
(D.2710地区大会特集号)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
 TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

第2560地区 2013-14年度 2月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	2月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	88.80	345	350	37	5
新発田	3	96.76	85	87	0	2
村上	4	84.85	32	33	7	1
水原	4	78.35	26	26	1	0
中条	4	92.19	31	32	3	1
新発田城南	4	89.74	42	41	6	-1
豊栄	4	92.58	26	27	4	1
新発田中央	4	84.10	50	50	5	0
中条胎内	4	89.66	29	29	5	0
村上岩船	4	91.00	24	25	6	1
第2分区(9クラブ)	／	85.33	405	429	15	24
新潟	3	86.83	83	93	0	10
新潟東	4	90.78	53	55	4	2
新潟南	4	81.79	85	93	0	8
佐渡	4	85.40	12	12	0	0
新潟西	4	81.57	32	33	0	1
佐渡南	3	89.60	42	44	5	2
新潟北	4	85.53	36	39	0	3
新潟中央	3	89.85	23	23	0	0
新潟万代	3	76.58	39	37	6	-2
第3分区(6クラブ)	／	73.89	138	136	8	-2
新津	4	71.88	25	24	1	-1
村松	3	80.00	9	9	0	0
五泉	4	78.94	21	21	3	0
白根	4	76.70	43	43	2	0
新津中央	3	73.34	31	30	1	-1
阿賀野川ライン	3	62.50	9	9	1	0
第4分区(11クラブ)	／	78.79	352	362	19	10
三条	4	87.10	54	55	0	1
燕	4	62.11	25	28	1	3
加茂	4	71.77	31	31	5	0
三条南	4	89.05	44	50	1	6
分水	3	79.76	29	29	2	0
見附	4	73.00	18	20	1	2
吉田	4	84.80	33	33	1	0
三条北	3	79.90	71	68	3	-3
巻	4	91.60	11	10	0	-1
田上あじさい	3	66.60	6	6	1	0
三条東	4	81.04	30	32	4	2

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	2月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	85.98	300	305	30	5
長岡	3	89.52	37	42	2	5
柏崎	4	82.67	47	46	0	-1
長岡東	4	86.00	63	65	7	2
柏崎東	4	93.34	44	45	5	1
栃尾	3	79.03	25	22	0	-3
長岡西	4	85.80	44	46	5	2
柏崎中央	3	85.53	40	39	11	-1
第6分区(6クラブ)	／	86.39	148	151	6	3
十日町	4	95.45	32	33	0	1
小千谷	3	90.00	38	38	3	0
雪国魚沼	4	77.80	21	21	1	0
十日町北	4	96.73	22	23	1	1
津南	4	83.33	24	24	1	0
越後魚沼	3	75.00	11	12	0	1
第7分区(9クラブ)	／	78.02	302	306	27	4
高田	4	97.78	58	59	1	1
直江津	3	75.51	37	43	2	6
新井	4	73.39	29	31	3	2
糸魚川	4	78.44	36	36	2	0
妙高高原	0		4	0	0	-4
高田東	4	70.47	38	39	3	1
糸魚川中央	4	73.44	33	33	0	0
頸北	4	83.90	15	15	1	0
越後春日山	4	71.21	52	50	15	-2

妙高高原RCは11月末で解散致しました。

クラブ数	56 クラブ
7月1日 会員数	1,990 人
2月末 会員数	2,039 人
女性会員数	142 人
純増減会員数	49 人
当月平均出席率	82.53 %



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2560



国際ロータリー第2560地区 山崎ガバナー事務所

〒959-2627 新潟県胎内市野中 490-3 新和ヒルズ 2F
Tel.0254-28-8822 FAX0254-28-8826
E-mail:k.yamazaki@rid2560niigata.jp